

「あいち地域安全戦略2023」(案)に対する県民意見の概要及び県の考え方

連番	意見(原文)	県の考え方(案)
1	<p>いじめ、ヘイトスピーチ、ネットいじめ(誹謗中傷記事の投稿等)への対処についての言及があればと思いました。</p> <p>これらは、悪意による意図的な犯罪行為としては少ないかもしれませんが。しかし、その人としてはちょっとした思いの行為であっても、相手や対象になる人にとってはひどく傷付き、不安にさせ、果てには自殺に至らせてしまう場合さえある事象と思います。県民の安心に関わる重大なテーマのひとつと思います。</p> <p>これらの防止のための学校教育等における方策や配慮の構築、被害者からの相談受理や解決に向けて動く体制の整備を望みます。</p>	<p>いじめ、ヘイトスピーチ、ネットいじめ等については、犯罪に発展する恐れもあることから、サイバー空間の安全と安心を確保するための対策や、インターネット上の犯罪から子供を守る取組等を推進していくこととしています。</p>
2	<p>あいち地域安全戦略2023の中に交通犯罪の件数や交通安全についての取り組みも明記していただきたい。</p> <p>理由:交通犯罪はれっきとした犯罪であることを、県民や関係機関に広く認知してもらうため。</p> <p>毎年、愛知県は交通事故死者数ワースト上位県であり、安全なまちづくりグループと交通安全グループが連携して交通事故0を目指すことは、県民が安心して暮らせる社会の第一歩であるため。</p>	<p>交通安全対策は重要課題の一つであり、その対策は5年毎に策定する「愛知県交通安全計画」及び毎年度策定する「愛知県交通安全実施計画」において、一元的に記載しております。</p>
3	<p>101: 県民への理解推進のための広報啓発活動の推進(35ページ)</p> <p>意見 犯罪被害者等支援パネル展における予算を充実させ、持続可能かつ発展性のある活動にしていただきたい。</p> <p>理由:展示の回数は増えているにも関わらず、現状は限られた人のボランティアに頼っている状況であるため。</p>	<p>犯罪被害者等支援パネル展等は、県民の皆様は犯罪被害等の実態について理解を深めていただくとともに、社会全体で犯罪の被害に遭われた方やそのご家族を支えていくために重要な取組であると考えております。</p> <p>引き続き、犯罪被害者団体等のボランティア、市町村と協力をし、事業の継続・充実に努めてまいります。</p>

連番	意見(原文)	県の考え方(案)
4	<p>103: 関係機関との連携の推進(35ページ) 意見 毎年度開催の連絡協議会の中で、犯罪被害者も意見交換の場を設けていただきたい。</p> <p>理由: 被害者が最初に関わる機関である警察の対応への要望、各種関係機関との連携を求める声が当会会員からも多く出ており、これからの被害者支援に役立てたいため。(実際に、京都府や滋賀県では連絡協議会に交通犯罪被害者が参加し、分科会等で意見を述べる機会があります。)</p>	<p>愛知県被害者支援連絡協議会では、関係機関との情報共有を中心に、支援活動の調査、研究、訓練等を行っています。 協議会の開催内容は情勢に合わせてながら検討しておりますので、意見交換の場の設置を含めて情報共有のあり方を研究し、関係機関との連携に努めてまいります。</p>
5	<p>104: 犯罪被害者等への支援の強化に向けた条例の制定(36ページ) 意見1 <u>事業計画を「...条例を制定し、居住・雇用の安定や経済的支援等、被害者の心に寄り添い、地域差のない取組を推進します。」に変更していただきたい。</u> 理由: 心のない条例や支援は二次被害を引き起こし、被害者にとって逆効果になるため。県民や関係機関による被害者への理解促進に地域格差があってはならないため。</p> <p>意見2 条例検討の委員会や会議に、交通犯罪被害者に参加してもらい、実際の経験に基づく意見を取り入れていただきたい。 理由: 被害者が具体的な意見を出すことによって、より実効性の高い条例にするため。また、交通犯罪の中には、無保険であったり、加害者が帰国して行方をくらましてしまうなど経済的支援を必要とする場合もあるため。</p> <p>意見3 犯罪被害者を対象に、困っていることや必要とする支援等の調査を行っていただきたい。 理由: 支援の条例制定には、より多くの実態を把握する必要があるため。</p>	<p>戦略では、「犯罪被害者基本法に基づき、県・県民・事業者・民間団体の責務や基本的施策を定める条例を制定し、居住・雇用の安定や経済的支援等の取組を推進します。」と記載しており、犯罪被害者基本法が基本理念として掲げている、 (第三条) すべて犯罪被害者等は、個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい処遇を保障される権利を有する。 2 犯罪被害者等のための施策は、被害の状況及び原因、犯罪被害者等が置かれている状況その他の事情に応じて適切に講ぜられるものとする。 3 犯罪被害者等のための施策は、犯罪被害者等が、被害を受けたときから再び平穏な生活を営むことができるようになるまでの間、必要な支援等を途切れることなく受けることができるよう、講ぜられるものとする。 を踏まえて、取組を推進してまいります。</p> <p>また、条例の制定方法、内容等については、今後検討してまいります。</p>

連番	意見(原文)	県の考え方(案)
6	<p>犯罪被害者等に交通事故の被害者も含んでほしい。</p> <p>「事故だから仕方ない」「運が悪かった」家族を失ってなお、そんな言葉で何重もの被害を受けてきた人たちを見てきた。</p> <p>私自身も子供を奪われ、そんな世の中にずっと苦しめられている。</p> <p>犯罪被害者等支援条例が、被害を受け、生きる気力を失った人たちの救いになることを切に願っています。</p>	<p>愛知県では、「愛知県安全なまちづくり条例」、「あいち地域安全戦略」及びそれに基づく「あいち地域安全県民行動計画」に基づき、犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができるよう、県民への理解促進のための広報啓発活動の実施、相談・カウンセリングや情報提供の充実等を図っており、関係機関と連携しながら、交通事故の被害者の方々への支援も推進しているところです。</p> <p>新戦略ではこれらの取組を継続していくとともに、犯罪被害者等基本法の基本理念を踏まえて、条例を制定し、犯罪被害者等の方々への適切な支援ができるよう検討してまいります。</p>
7	<p>安全に安心して暮らせる社会の実現の一環として、愛知県が交通事故死亡者数常に全国上位という個所についても触れた方が良いと思いました。</p> <p>また愛知県は運転が荒いと全国的な評判の悪さがあり、それはつまり交通違反にも繋がり、交通事故の多さにも繋がり、さらには妨害運転罪等と、安全に安心して暮らせる社会として脅かされる事象だと思えます。</p> <p>道路交通法の規範意識の低下は、ゆくゆくは治安悪化にも繋がる事象だと考えられます。</p> <p>それらを改善していけるような、取り組みも求められると思えます。</p> <p>(アイデア)</p> <p>その話に関連する話として、防犯を兼ねて、交差点の多くに高精細のカメラの設置を促進させる。</p> <p>このカメラから、AI等を取り入れ、明らかな交通違反の取り締まり等に繋げる。</p> <p>煽り運転の証拠や、立件にも繋がられるようにする。</p> <p>また、車などで何らかの逃走犯が居た場合にも、このカメラシステムで追尾できるようにする。</p> <p>これらの街中のカメラと連動する、AI防犯システムを構想する。</p> <p>以上、よろしくお願いいたします。</p>	<p>交通安全対策は重要課題の一つであり、その対策は5年毎に策定する「愛知県交通安全計画」及び毎年度策定する「愛知県交通安全実施計画」において、一元的に記載しております。</p>

連番	意見(原文)	県の考え方(案)
8	<p>特殊詐欺、侵入盗、自動車盗の被害防止、防犯体制の強化、性犯罪・性暴力対策の強化、犯罪被害者支援の充実といった、今回の主要な施策いずれについても、その実効性を高めるためには、愛知県民が生活する最も身近な自治体である市町村の協力が不可欠であると思われる。また、特殊詐欺に限らず、犯罪は、愛知県外の加害者、もしくは被害者が事件当事者となる等、広域に及ぶケースもある(例えば、群馬のスキーバス事故は、そうしたケースの典型である。)</p> <p>そのため、今回の施策の中で、愛知県内の市町村との連携を図ること、及び、他の都道府県や、愛知県外の市町村との協力を図る仕組みや体制を構築することも盛り込んでいただきたい。</p>	<p>御指摘のとおり、各種防犯対策や支援等の取組は、市町村等の協力無くしては成り立たないと考えております。</p> <p>愛知県では、安全なまちづくり推進協議会(会長:知事)において、戦略に呼応する「あいち地域安全県民行動計画」を毎年度策定し、市町村、事業者、地域団体、そして県民の皆様で取り組むべき事項を示して、県民総ぐるみでの安全なまちづくり活動を推進しており、新戦略にも、「あいち地域安全県民行動計画の策定」を明記しております。</p> <p>また、他の都道府県等との連携のあり方については、今後研究してまいります。</p>